

(別紙2-1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年 4月 25日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	4271601223		
法人名	株式会社 新上五島町在宅ケアセンター		
事業所名	グループホームあいらん		
所在地	〒857-4402 長崎県南松浦郡新上五島町奈摩郷 910 番地 10		
自己評価作成日	平成 26年 4月 9日	評価結果市町受理日	平成 26年 5月 12日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島 2 丁目 7217 島原商工会議所 1 階
訪問調査日	平成 26年 4月 22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

「心と心のつながりを、人と人とのふれあいを大切に」の理念に基づき、日常生活の支援をさせて頂いています。いろいろな場面での言葉かけや、気分転換の図りかたを年間の行事を通じて取り組んでいます。「笑顔がいっぱい咲きますよう」をテーマに掲げて表情豊かに暮らす雰囲気作りを心がけ、一人一人がその人らしく暮らせる寄り添った支援に力を入れています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

当ホームは、法人理念とホーム目標に沿って役職員が心一つにして、入居者本意、入居者優先の支援に取り組みされており、入居者は、職員の明るく優しい心配りの中で穏やかな日々を過ごされている。代表者の介護への思いは役職員に良く理解されており、入居者や家族との絆を大切に、各ユニットでは主任を中心に切磋琢磨しながら「入居者とどれだけ長く関わられるか、あとで後悔しない対応を心掛け」より良いサービスの提供と向上に努められている。中でも人間の基本的な営み支援において、紙パンツ使用による家族の経済的な負担軽減とトイレ誘導は入居者へのリハビリと捉えて細やかな支援がなされており、入居者全員が昼間は布パンツで快適に過ごされるまでに改善されている。ホームでの取り組み状況は、遠隔地の家族にも分かるように法人のブログで毎週タイムリーに職員

のコメントを付して掲載されていて、二カ月に一度は、職員直筆のお便りと入居者一人ひとりのホームでの様子写真を添えて各家族へ届けられており、家族から安心と喜びの声が届いている。

更に、法人としても毎年、青少年の健全育成と地域活性化で「ソフトボール」「サッカー」「ゲートボール」「グランドゴルフ」等々、多くの大会を主催され、又、町行事にも積極的に参加されるなど地域の一員として家族や地域に親しまれているホームであり法人である。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を共有し日々実践に取り組んでいる。	法人理念を基調にして各ユニット共通の「笑顔がいっぱい咲きますように」を目標に、職員は思いをこめて入居者支援に努められている。理念は、朝礼や毎月のミーティングで共有され、職員理解の下に実践されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の祭り、散策の際、気軽に声を掛け合っている。	日常的な散歩時の住民との会話や地域行事への招待があり、保育園児、老人会の訪問、小中学生の職場体験受入れ、ホーム行事への住民参加等々地域との交流が盛んであり、地域から旬の山海の幸の差し入れもある。又、法人主催の数多くの恒例行事、町内行事への参加などで交流もあっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日々の実践を基に地域の人々に向けて発信し活かしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	意見を活かした取り組みを実践し、サービス向上に活かしている。	年間6回開催の取り組みが実現され、多くの家族参加も得られるまでに努力されており、和やかな雰囲気の中で率直な意見交換があっている。ホームからは各ユニットの主任と職員が交替で出席され、会議録は全職員に回覧し開かれた運営となっている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政担当者と連携を取りながら、意見交換や助言をいただいている。	運営推進会議には町の担当職員の出席があり、又、法人主催の行事への参加や平常のホーム訪問等で町職員との親交が図られており、行政との協働体制は構築されている。	

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>施錠はせず、ご家族様・地域の方が自由に面会できるケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の弊害についてはミーティングの都度、注意喚起されている。外部研修にも代表者の意向に沿って積極的に参加されており、受講後の研修報告会や資料回覧など拘束排除に取り組まれている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>会議・ミーティングにおいて知識を学んで理解しながら、虐待防止の徹底に注意を払い、努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在必要な利用者様はいない。対応が必要な場合は関係者と話し合い、利用者様の支援に活用したい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>ケアマネージャー、ご家族様、利用者様を交えて十分な説明を行い、理解納得を図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃からコミュニケーションをとり、意見を言いやすい雰囲気づくりに努め、得られた意見はミーティング・連絡ノートで共有し改善に取り組んでいる。</p>	<p>入居者や家族の意見は、連絡ノートやメモに記録し全職員で回覧共有されている。家族訪問時には生活記録（支援記録）を開示して状況説明されコミュニケーションに努められており、家族からは入居者へのプレゼントの品の相談を受けるまでに頼られている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>個別面談の実施で意見・提案を聞き、全体会議・ミーティングで話し合い反映させている。</p>	<p>職員会議は、毎月各ユニット毎に全職員が出席出来る時を見極めて開催され、意見はミーティングノートに記録し、代表者や職員へ回覧されている。日常は部長、主任、副主任が傾聴されており、毎年、代表者との個人面談も実施され提案や意見交換の機会が設けられている。</p>	

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員個々の生活状況を考慮し、向上心を持って、働ける職場環境・条件づくりに努めている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人職員には一対一での指導の場が設けられ、職員が成長できるように配慮されている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>関係者と交流を持つことにより、サービスの質の向上を目指して取り組んでいる。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>信頼関係を確保するための訪問や面談を重ね、関係づくりに努めている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>自宅訪問やホーム見学をしていただいたり、コミュニケーションを多くとり、関係作りに努めている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者様、ご家族様、ケアマネジャー、管理者を交え、不安・疑問点は納得していただける対応に努めている。</p>		

18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	尊敬の意を持って接するように意識し、心に寄り添う関係作りに努めている。		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様とのコミュニケーションを図り、信頼関係を築き、安心して生活できるようにご家族様とともに支えている。		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	希望に添い、外出の支援・お礼状の発送・電話をするなど、なじみの関係作りに努めている。	慣れ親しんだ近隣の神社参拝や途中の馴染みの住民との会話、お墓や自宅の仏参り、ドライブでの居住地巡り、美容室支援等の関係継続に努められている。家族の面会も頻繁にあり、帰宅時は職員が玄関まで見送り「またいらして下さい」の挨拶で見送られている。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの関係や性格を把握し、支えあえるように支援に努めている。		
22	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	訪問や手紙により、これまでの関係を大切にしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	表情や気持ちなど普段の会話の中でさりげなく聞き出している。ご家族様からの協力も得て、把握に努めている。	職員は入居者との会話や表情しぐさから思いや意向把握に努められており、聞き取りは生活記録や申し送りノートに記録し職員回覧をされている。また、アクティビティ支援は多くのジャンルを貼り絵にして掲示され、その中から入居者の自己選択で支援されている。	

24	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の暮らしの中でコミュニケーションを多く取り、思いを受け止め把握に努めている。		
25	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	現状の把握、見極めに努め、一人ひとりの心身状態を見守っている。		
26	10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がよりよく暮らすため、関係機関との連携により見直し改善に取り組んで作成している。	本人、家族の思いに沿って、各ユニットで全職員参画の下、入居者ごとの介護計画が作成され、ケアマネジャーが検証の後、再度、全員で見直しされている。プランは6カ月ごとに見直しされ、モニタリングは1カ月で行い、状況変化によって見直しをされている。	
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の暮らしの中で情報を共有しながら、実践や見直しに活かしている。		
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	柔軟な支援サービスが行えるように、多機能的に取り組んでいる。		
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の中で安全で豊かな暮らしを楽しむ支援をしている。		
30	11 ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医に定期的受診し適切な医療が受けられるように支援している。	受診は、離島の地域性から「協力医療機関」が「かかりつけ医」である。受診支援は基本的に職員支援であるが、家族に同行依頼される時もある。受診後は家族へ適切に報告もされている。	

31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常生活の情報や気づきを伝え、受診の支援をしている。		
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報交換や相談に努め、連携を図っている。		
33	12 ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様と話し合い、病院と連携を図り、チームで支援に取り組んでいる。	これまでに看取り経験はないが、本人、家族の要望に添えるように、マニュアルを作成し、又、外部研修へ職員を参加させ、受講後のホーム勉強会等を通じて研鑽を図り看取り体制を整えられている。	
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。		
35	13 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 また、火災等を未然に防ぐための対策をしている。	定期的に地域の方も参加し、避難訓練を行い、協力体制を築いている。	防火意識を持って、年2回、夜間想定で消火、避難訓練を実施し職員への周知は図られている。現在、地元消防団との訓練実施はないが、職員5名が地元消防団に加入されている。また、消防設備の点検の実施及び防災製品を使用することにより火災等を未然に防ぐ取り組みを行っている。	今後は自然災害や被災時の対応や備えが必要と思われるので、ホームの孤立を想定して、地域との避難訓練の実施、地震・水害の訓練の実施や飲料水、非常食、生活必需品等の備蓄品を一覧表にして管理保管されることが望まれる。また、訓練後の反省点も、見直しに繋がるので記録することが望まれる。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけに配慮しながら、一人ひとりの尊重とプライバシーを確保しながら対応している。	ホーム一面にはプラス言葉、マイナス言葉を具体的に表示して共有されており、入居者の自尊心やプライバシーに配慮した言葉遣い、接遇に努められている。代表者は入居者への感謝の気持ちを大切にされていて接遇研修への職員参加も前向きである。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の気持ちを大切に自己決定できるように取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人が自分のペースで暮らせるように、希望にそった支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出や行事、その人らしい支援ができるように取り組んでいる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	皆さんで同じテーブルを囲み、楽しい食事ができる雰囲気づくりを大切にしている。	献立表は職員によって1か月分が作成されているが、地域や職員からの旬の食材の差し入れや入居者の希望に添って献立の変更をされたり、毎月15日は弁当の日で、季節の食材に拘り、季節食、行事食の提供など変化に富んだ食事を楽しまれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに合わせた調理方法、食事形態、水分摂取に工夫し支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内の清潔保持は日常的に支援、チェックしている。		

43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	おむつの使用を出来る限り減らし、排泄の自立に向けた支援をしている。	排泄チェック表による細やかなトイレ誘導で自然排泄を大切にされている。入居時は紙パンツの方も布パンツへ移行されており、職員はトイレ誘導は入居者のリハビリと考えて支援されている。現在、入居者全員が布パンツで昼間を快適に過ごされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動・野菜・水分量の摂取に取り組む、個々に応じた予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	個人に応じた入浴支援を心がけている。	入浴は入居者の体調に合わせて毎日支援されており、入居者は入浴時間を職員とのふれあいの時間として楽しみにされている。湯船では季節湯や入浴剤を使った楽しみもあり、お湯の張替にも配慮され衛生面に注意されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活リズムの確保、状況に応じて眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルの作成、服薬の理解、体調の観察も考慮している。手渡し服用の確認も行っている。		

48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	気分転換になるように外出、地域の行事の参加、得意分野での仕事を楽しみながら支援している。		
49	18 ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者様、ご家族様の希望で支援している。散歩がてら近くの神社へ参拝する支援も行っている。	天気の良い日は散歩を日課として支援されている。介護度の高い方も全員、外出によって季節感を肌で感じられる支援があり、地域の方との触れ合いも図られている。冬季も防寒服を装着するなど四季を通しての外出支援があつている。	
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの力に応じた支援をしている。		
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望により電話や手紙が出せる支援している。		
52	19 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温度湿度、こまめな換気に配慮し、季節感の採り入れを心がけている。	玄関ホールの壁には微笑ましい全職員の似顔絵イラストがあり、二階に上がると左右に分かれた2ユニットがある。各リビングは自然の採光で明るく、窓の手すりは色鮮やかな季節の花で彩られ、壁には入居者合作の鯉のぼりの貼り絵が泳ぎ、対面式オープンキッチンからは職員の笑顔が見える。フローアは職員による朝夕二回の清掃で美観と清潔感が保たれている。	
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人で過ごす時は居室で見守り、共用空間ではトラブルがないように努めている。		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していたなじみの品や、ご家族様の写真などで居心地よく過ごせる工夫をしている。	各居室は明るく窓からは町並みが見える。室内はホーム設置のベッド、箆箭、エアコンが設置されており、入居者は家族写真、絵画、使い慣れた鏡台等思い出の品を持ち込み、夫々の居室創りの中で過されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	家具の配置など状況にあわせ、リスク回避に努め、安全に生活できる工夫をしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた地域での暮らし、関係性の継続をその人らしく生活することを支えるケアを目指し実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一員として老人会、保育園の慰問、自治会行事等、地域活動に参加し地元の人々との交流に努めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域での研修、会合に関わりながら認知症ケアの啓発に努め、地域の方々からの認知症の相談も受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様への対応サービスの内容、取組み状況等について、報告や話し合いを行い、意見をサービス向上に繋げている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者の方に運営推進会議やアドバイスを頂きつつ、行事参加の機会を設けながら、市町村と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。		

6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解し、利用者様に心理的な不安、閉塞感のないよう安全面に配慮しながら支援している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	職員は研修等高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、虐待が見過ごされることがないよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度が必要なケースが今はない為、職員全員が必要な時に支援できる体制が万全とは言えないので、職員の理解を深めるように実施していきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ケアに関する考え方や取り組み、対応可能な範囲についての説明、利用者様の状態変化による利用料金の説明等、その都度説明し同意を得るようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様の言葉や態度からその思いを察する努力をし、不安や意見などはミーティングで話し合い特定の職員間だけで終わらせないようにしている。推進会議にて意見や要望を伺い反映させている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	必要時にはミーティングを開き意見を聞くようにしている。日頃からコミュニケーションを図ることを心がけ、問いかけるようにしている。		

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>資格取得に向けた支援など、職場内で活かせる環境作りに努めてもらっている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業者以外での開催される研修に参加、受講できる環境を与えてもらっており、研修報告はミーティングで発表してもらい、報告書も閲覧できるようにしている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会や関連事業所の研修参加により、交流を持ち質の向上に励んでいる。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者様の不安を安心にもっていただけるような信頼関係を築き、職員が利用者様に受け入れられるような関係作りに努めている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>御家族が困っていることを傾聴し求めていることを理解し、どのような対応ができるかを話し合い信頼関係作りに努めている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>御家族様や本人様の思いを傾聴し、改善に向け必要なサービスの担当者に相談するよう努めている。</p>		

18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	支援する側、される側のみではなく利用者様の得意分野で力を発揮してもらうことで、感謝する気持ちを持つ関係性築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と情報交換を行い共に利用者様を支えることを、一緒に考えていける人間関係を築いていけるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている	今までに利用していた美容室に行くことや、お墓参り、神社参りなどまた地域の行事へ参加することにより、継続的な交流に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お茶の時間や食事の時間は職員も一緒に入り談話を心がけたり、利用者様の間に入り会話に繋がるよう支援してる。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	遊びに来て頂けるよう声をかけさせて頂いたり、葉書きでの挨拶や行事参加への声かけ等関係性が途切れないうよう努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の中で言葉に表して下さったり、表情から思いをくみ取るよう心がけながら、本人様の思いに近づけるよう努めている。		

24	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常会話の中で本人様自身の語りや、ご家族様や知人の方にも折に触れ傾聴し把握に努めている。		
25	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活リズムを把握すると共に、できないことよりもできることに視点を合わせ着目するよう努めている。		
26	10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様、御家族様との日頃の関わりの中で、本人様の思いからアセスメントも含め意見交換やカンファレンスを必要時、その都度行い反映させるよう心がけている。		
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	食事、水分量、排泄等身体的状況の記録を共有しケアを実施したり、利用者様の様子や本人様の言葉、状態変化は個別ファイルを利用し見直しに活かしている。		
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様、御家族様の要望があれば送迎や訪問先での介助、見守り等、柔軟な対応をし満足度を高めるよう努力している。		
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人様と地域の接点を作ることにより、地域での暮らしを続けられるよう支援している。警察や民生委員と意見を交換する機会を設けている。		

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人様、御家族様からの希望はもとより、気になる点があれば事業所からも御家族、医療機関への相談は密に行っている。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中であらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>職場内の看護職に医療面での気付きは相談、助言をもらっており、地域連携医療室にも相談対応を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には頻回に職員が見舞うように心がけ、回復状況により事業所内での対応可能な段階でなるべく早く退院できるよう、ムンテラにてアプローチしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末に対する対応方針を定め、状態の変化があるごとに家族、医師、事業所との話し合いを行い支援に繋げている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の協力を得て緊急時対応や、蘇生術の訓練を行い周知徹底を図っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルを作成し、利用者と共に非難訓練を定期的に行っている。地域の協力体制も運営推進会議で協力をお願いしている。</p>		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	誘導の声かけなど人前であからさまに介護することのないよう配慮したり、他の家族にプライバシーに関する話を話さないよう心がけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様に合わせて声をかけ、筆談や表情を読み取り選択肢を提案し、自己決定できるように働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れはあるが体調に配慮しながら休息や、散歩等状態に合わせて支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服を一緒に選んだり行きつけの美容室にお連れしたり、行事の時等、お化粧も日々の変化となる支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の旬な食材や頂き物など、調理過程を役割をもって頂き力を活かし、一緒に行いながら食事が楽しみなものになるよう活動している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取状況を毎日記録し情報を共有し、一人ひとりの状態の把握や、対応に役立てて支援している。		

42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の歯磨きと義歯の洗浄を一人一人の力に応じて、介助や見守りを行っている。それぞれの口腔状態に合わせてガーゼや舌磨き用の歯ブラシを使用し、口腔ケアをしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を使用し尿意のない利用者様にも、下着に尿とりパットのみ使用で時間で誘導することにより、トイレでの排泄を促し支援している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便秘の及ぼす影響を考え排便の大切さを認識した上での食材、乳製品の取り入れなど予防に取り組みながら、散歩運動での自然排便を心がけている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの湯の温度や身体状況によつての二人介助等、湯へ入ることへの負担感や抵抗感を配慮しながら個別にあった入浴支援に努めている。</p>		
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中の活動を促し生活リズムを整えるよう努めることで、安眠に繋がるよう支援しつつ体調によって、昼の休息も取り入れるようにしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬時は本人様に手渡しきちんと服薬できているか確認し、薬の処方や量の変更があった場合状態観察を強化し、変化が見られる時は医療機関への相談を行うよう支援している。</p>		

48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	調理手伝いや洗濯たたみ、貼り絵など、得意分野でのお仕事をお願いし、感謝の言葉を伝えるよう心がけている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	天気や本人様の希望に応じて、散歩やドライブ、外食やお弁当を持って出かける等の機会を作り支援している。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	外出した時や行事への参加した時など、少額ではあるができる人には所持したり、払ってもらったりの支援をしている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	御家族様への手紙や、本人様の希望により電話をかけたり、またこちらから声かけをしたり電話できるよう支援している。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	使い慣れた馴染みの物を置いたり使いやすい配置にしたり、季節感を味わえる食べ物や花を、行事で取り入れたりしている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	窓辺の廊下にソファを置き一人で景色を眺めたり、気の合った方同士で話をしたり、居心地良くつるげるスペースを作っている。		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンスや鏡台など使い慣れた家具や時計など、自宅で使用していた物など持ち込まれ、安心して頂けるよう配慮している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、お風呂場等の表示、自分の居室が理解できるよう表札や顔写真など、解りやすい環境整備に努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない